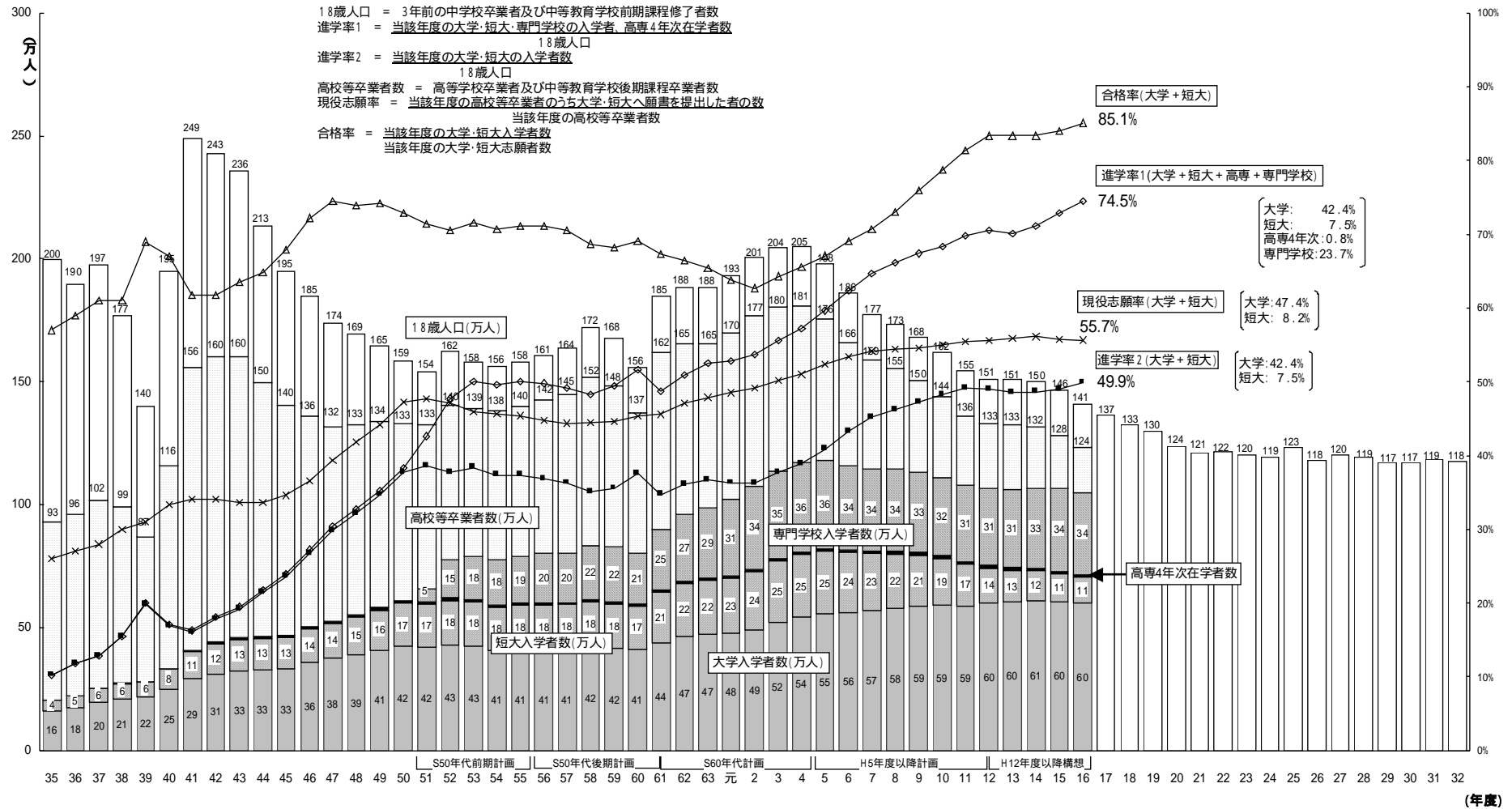


2. 高等教育の全体像

(1) 18歳人口及び高等教育機関への入学者数・進学率等の推移



(文部科学省「学校基本調査」、「学校基本調査速報」(平成16年度)、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成14年1月推計)より文部科学省作成)

(2) 高等教育機関の数

(単位 : 校 () 内は構成比)

区 分	計	大 学		短期大学	高等専門学校	専門学校
			うち大学院を置く大学			
計	1,210	708	545	439	63	2,964
(%)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)
国 立	144	87	87	2	55	15
(%)	(11.9)	(12.3)	(16.0)	(0.5)	(87.3)	(0.5)
公 立	119	77	66	37	5	193
(%)	(9.8)	(10.9)	(12.1)	(8.4)	(7.9)	(6.5)
私 立	947	544	392	400	3	2,756
(%)	(78.3)	(76.8)	(71.9)	(91.1)	(4.8)	(93.0)

(平成16年5月1日現在)

(注) この他に、放送大学学園立の放送大学がある。

大学、短期大学：学生募集を停止している機関を除く。

高等専門学校、専門学校：学生募集を停止している機関を含む。

(出典) 大学：文部科学省「全国大学一覧」(平成16年度)

短期大学：文部科学省「全国短期大学一覧」(平成16年度)

高等専門学校、専門学校：文部科学省「学校基本調査速報」(平成16年度)

(3) 高等教育機関の在学者数

(ア) 学校種別在学者数

(単位：人 () 内は構成比)

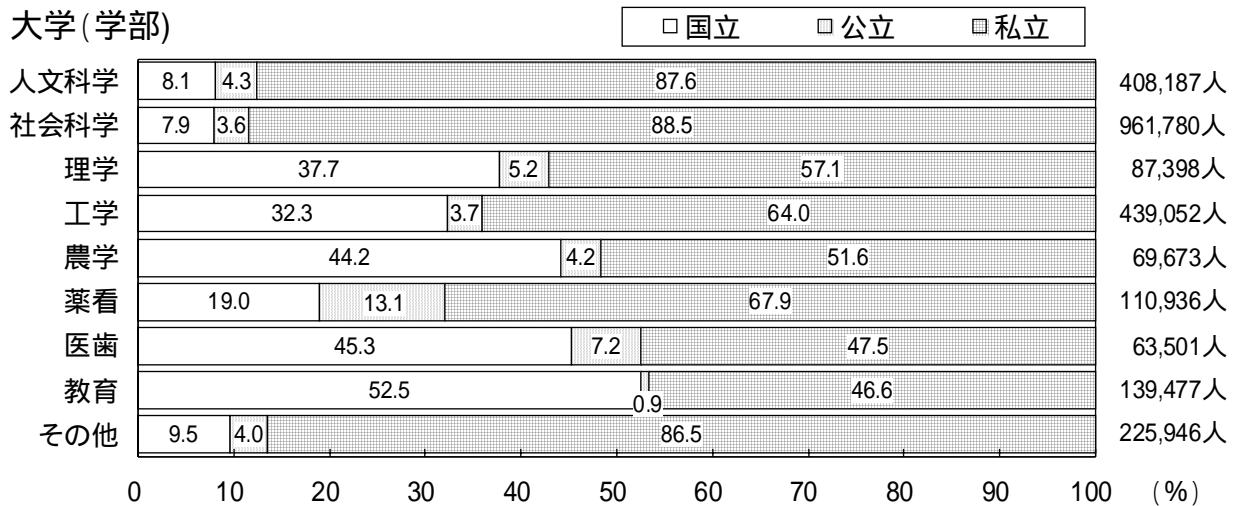
区分	計	大学院	小計				通信教育 (含大学院)	専門学校
				大学 (学部)	短期大学 (本科)	高等専門 学校 (4・5年次)		
計	3,180,624	244,026	2,753,361	2,505,950	225,998	21,413	183,237	696,828
(%)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)
国立	627,933	146,914	481,019	459,500	2,728	18,791	-	811
(%)	(19.7)	(60.2)	(17.5)	(18.3)	(1.2)	(87.8)		(0.1)
公立	136,287	13,575	122,712	105,176	15,812	1,724	-	27,652
(%)	(4.4)	(5.6)	(4.5)	(4.2)	(7.0)	(8.1)		(4.0)
私立	2,416,404	83,537	2,149,630	1,941,274	207,458	898	183,237	668,365
(%)	(76.0)	(34.2)	(78.1)	(77.5)	(91.8)	(4.2)	(100.0)	(95.9)

(平成16年5月1日現在)

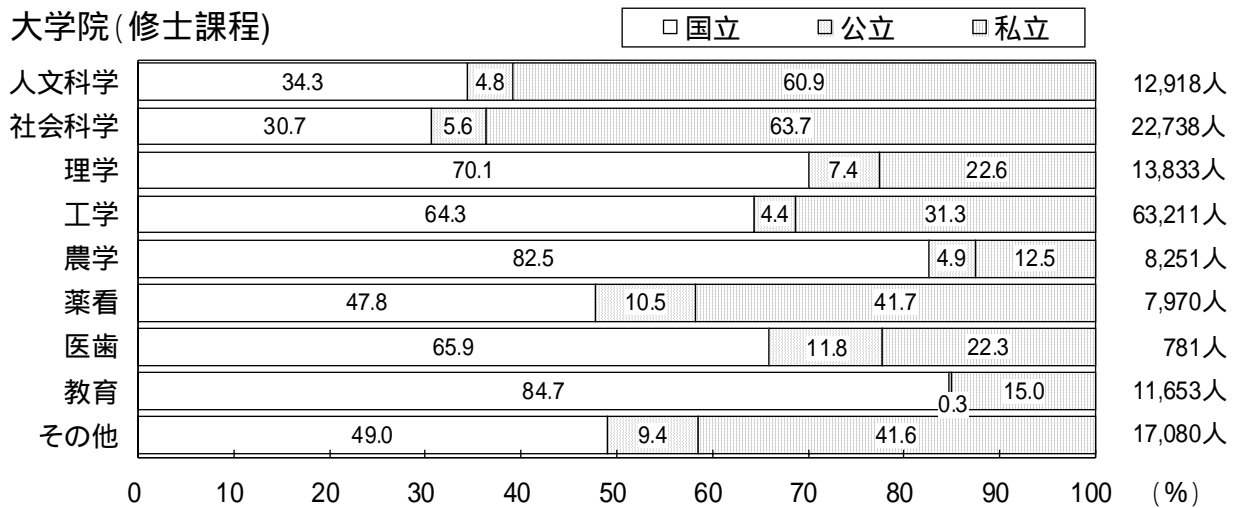
(注) この他に、放送大学学園立の在学者数 (大学院を含む) が94,923人。
(出典) 文部科学省「学校基本調査速報」(平成16年度)

(イ) 学校種別分野別在学者数

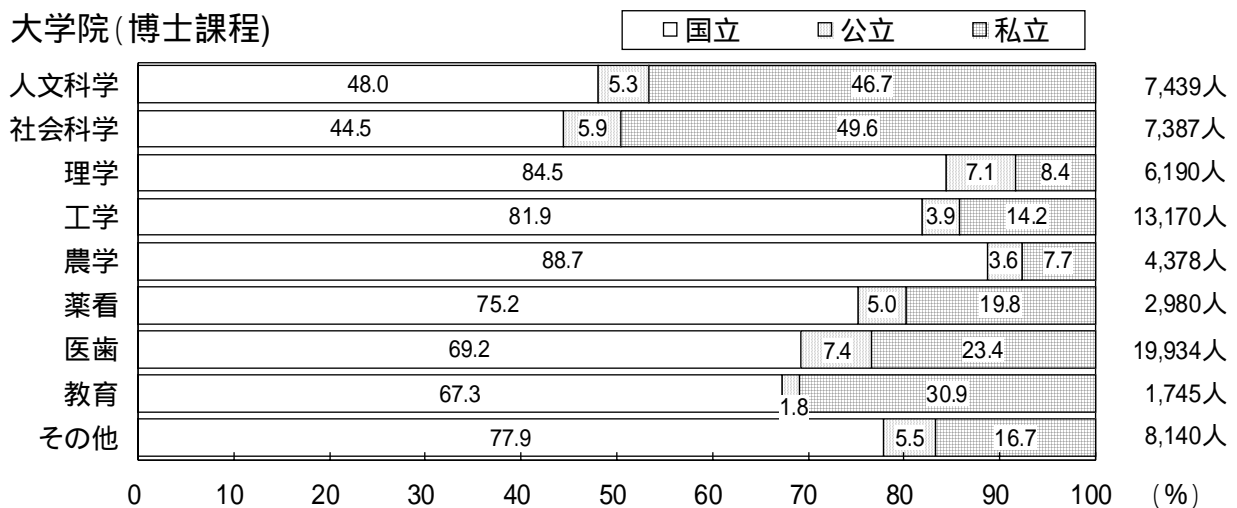
大学(学部)



大学院(修士課程)



大学院(博士課程)

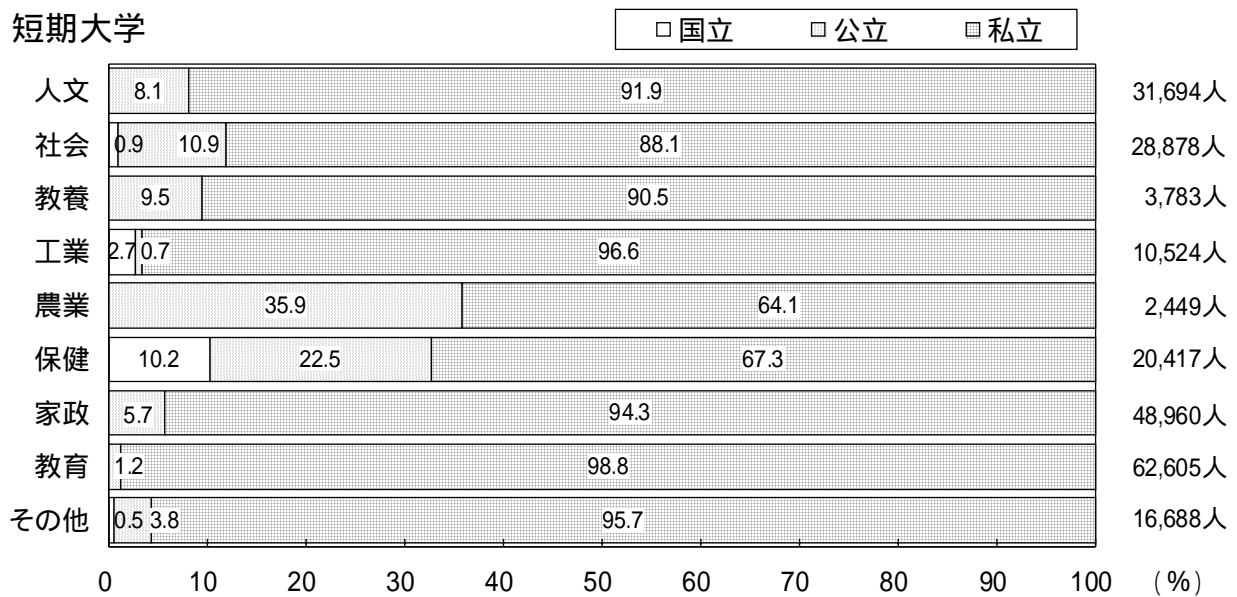


(注) その他は商船、家政、芸術等を含む。

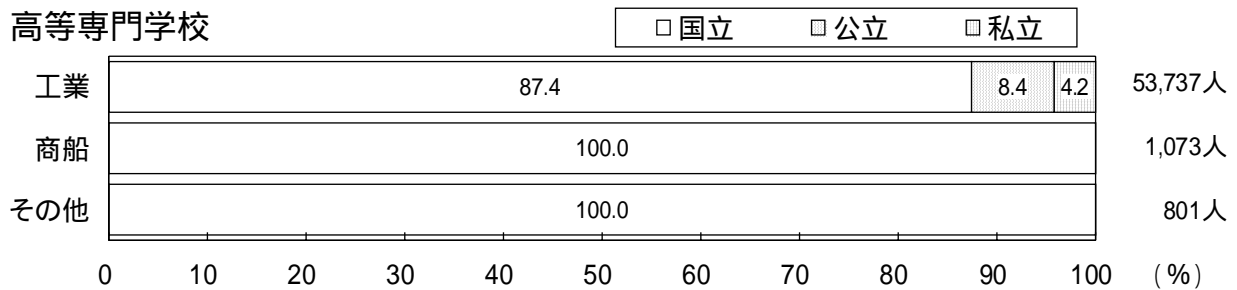
(出典) 学部：文部科学省「学校基本調査速報」(平成16年度)

大学院：文部科学省「学校基本調査」(平成15年度)

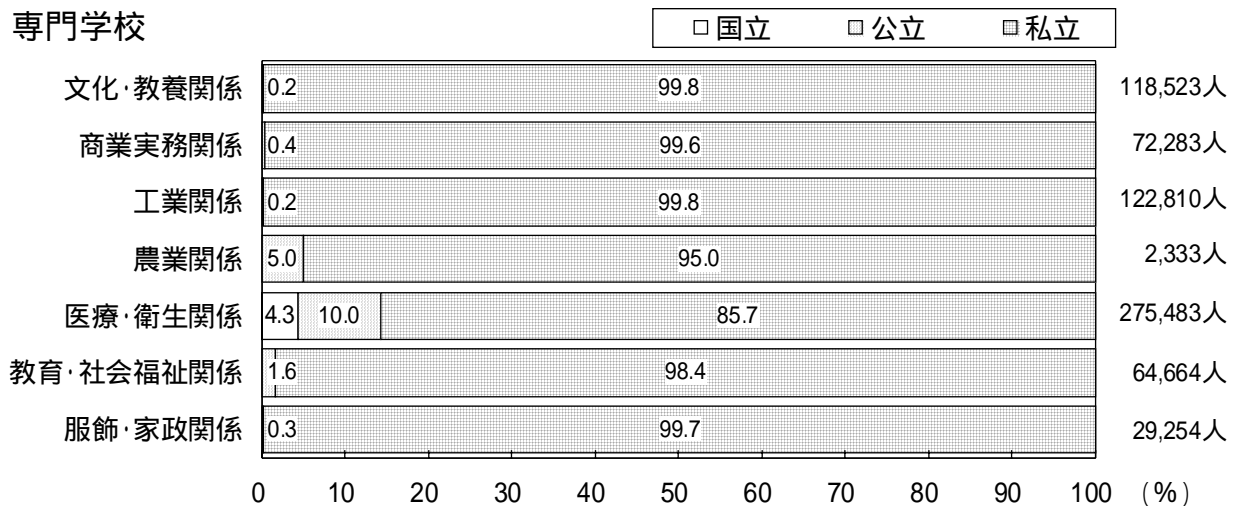
短期大学



高等専門学校



専門学校



(注) 短期大学のその他は芸術等を含む。

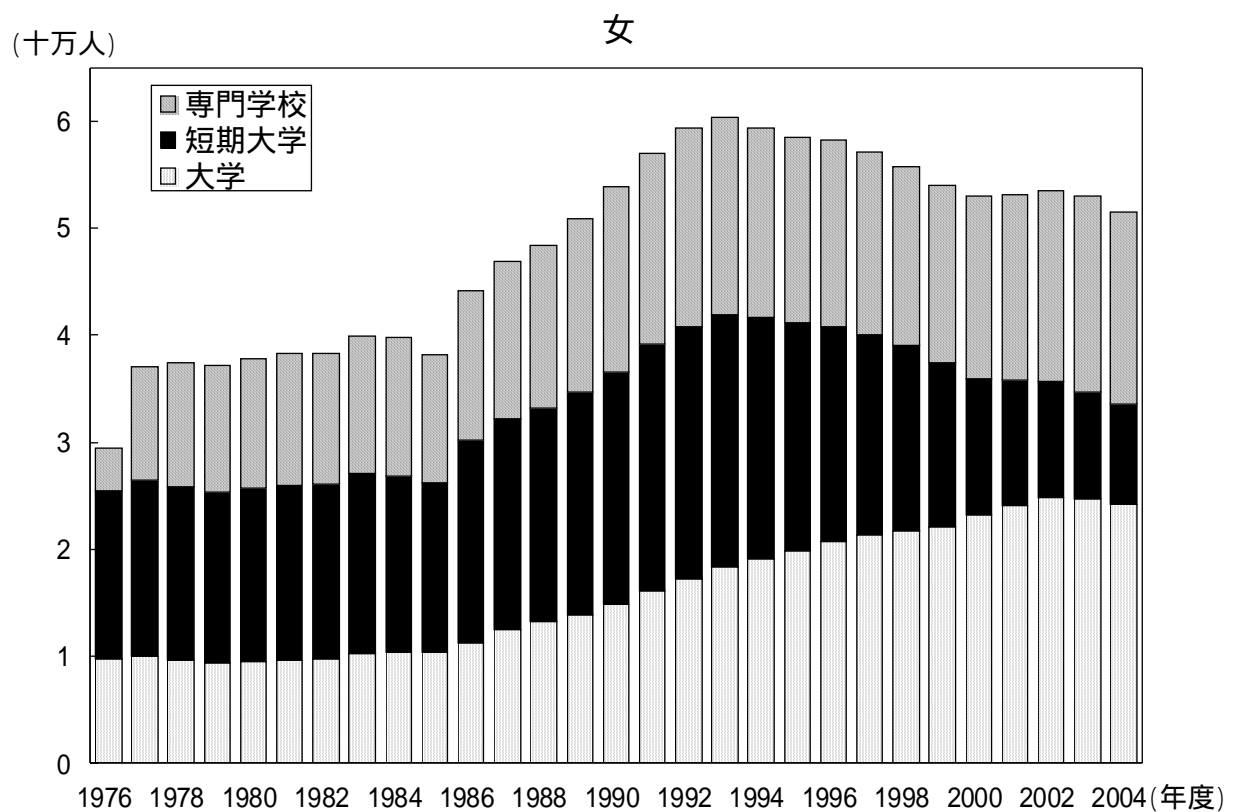
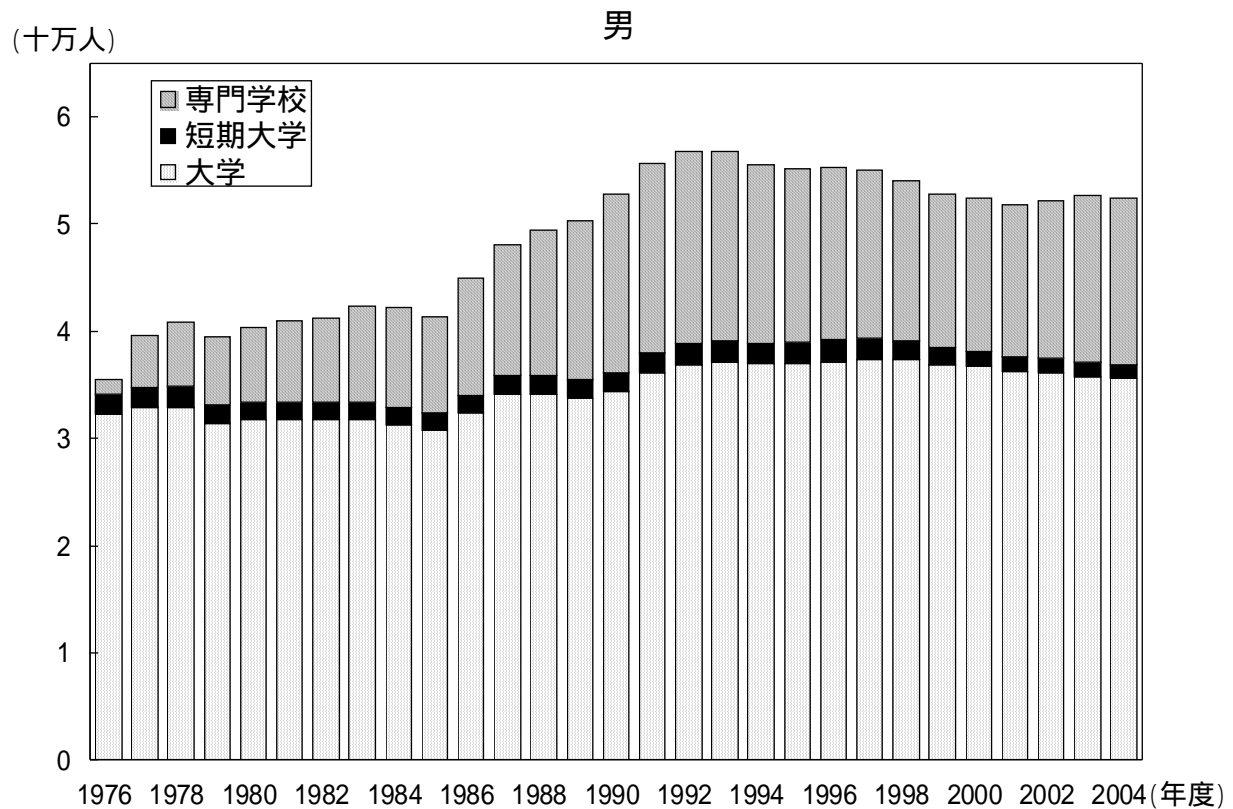
高等専門学校のその他は経営情報学科、情報デザイン学科、コミュニケーション情報学科及び国際流通学科である。

(出典) 短期大学：文部科学省「学校基本調査速報」(平成16年度)

高等専門学校、専門学校：文部科学省「学校基本調査」(平成15年度)

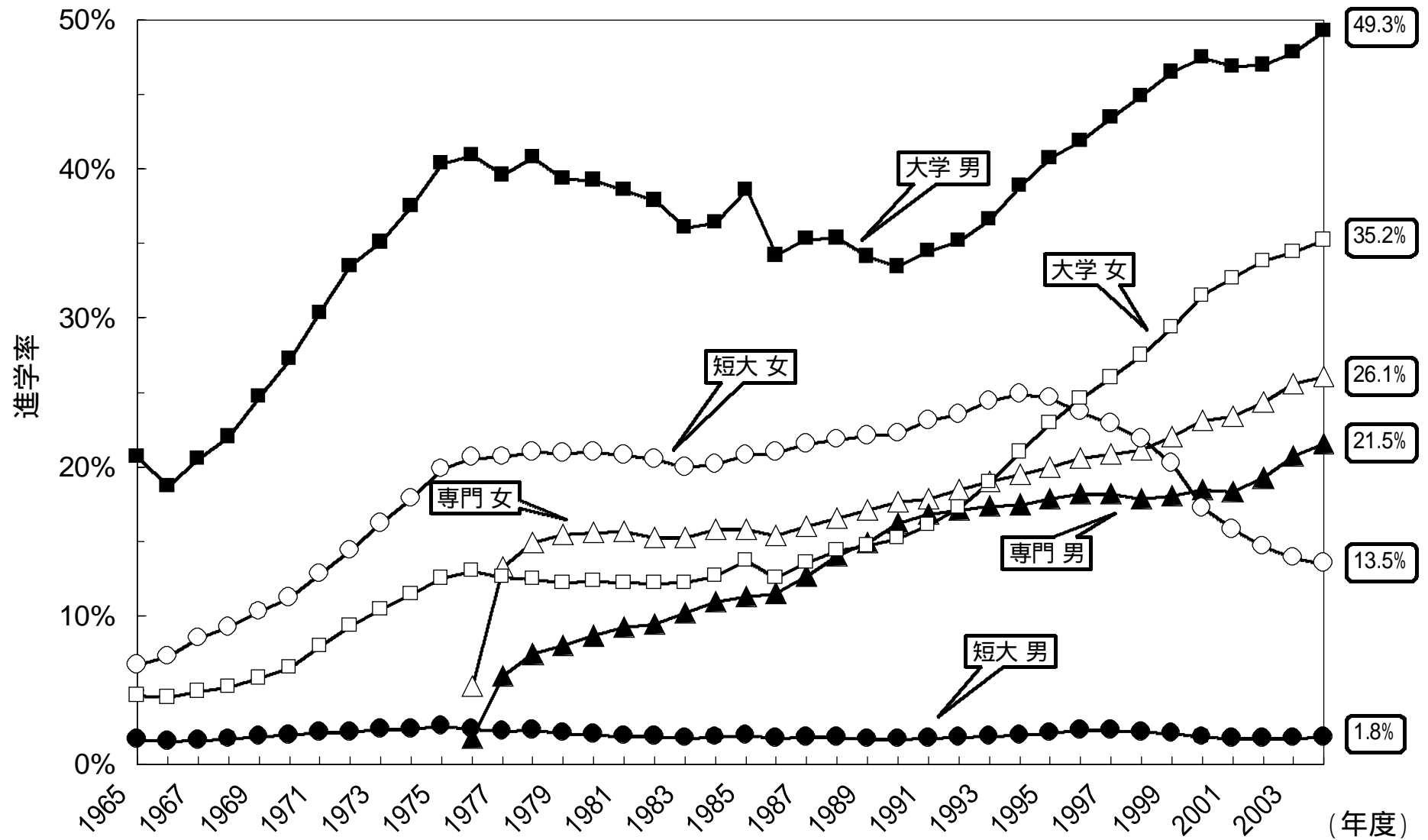
(4) 男女別の大学・短期大学・専門学校への進学状況

(ア) 進学者数の推移



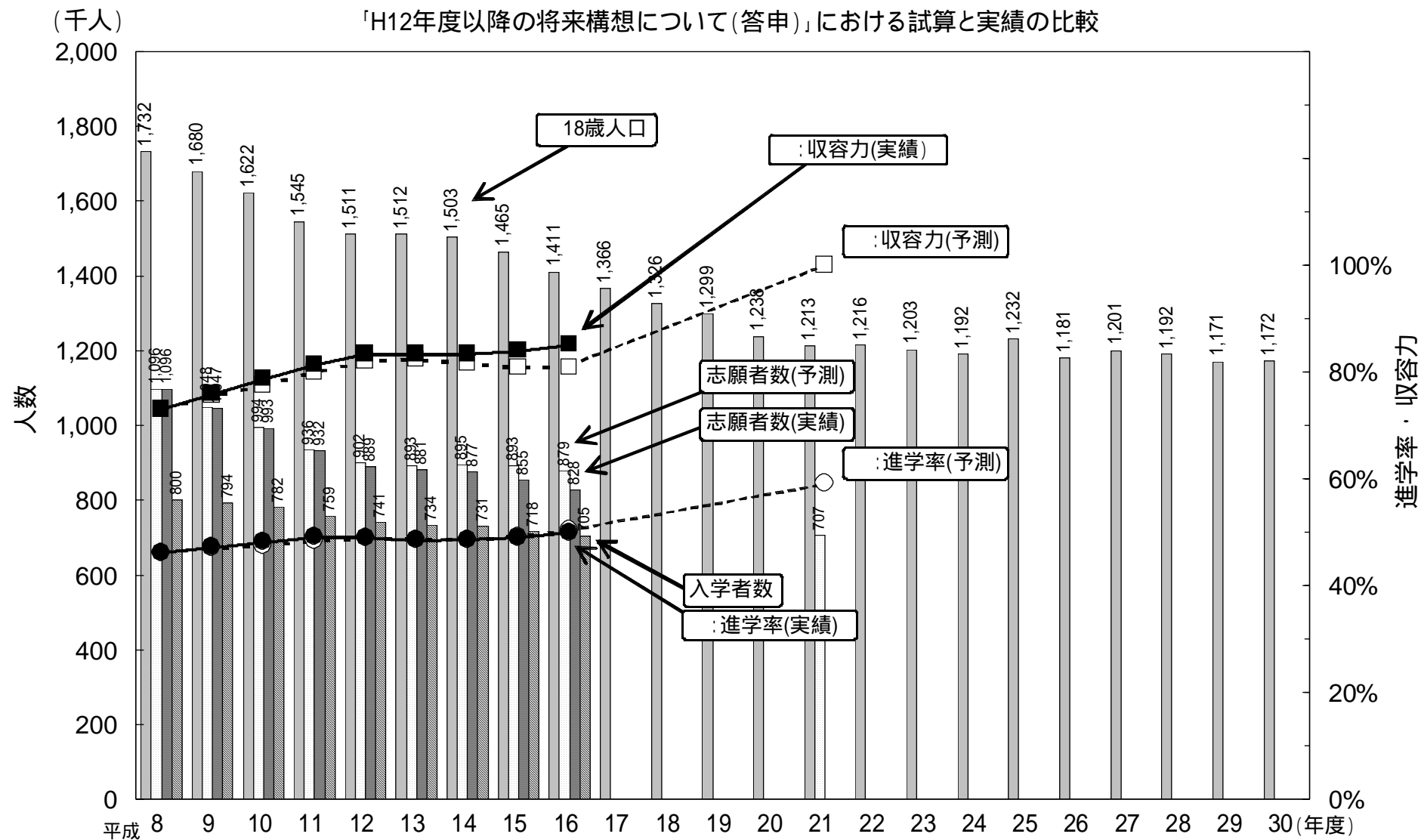
(出典) 文部科学省「学校基本調査」,「学校基本調査速報」(平成16年度)

(イ) 進学率の推移



(注) 進学率 = 当該学校種への入学者数 / 18歳人口。
 (文部科学省「学校基本調査」、「学校基本調査速報」(平成16年度)より文部科学省作成)

(5) 高等教育の全体規模の試算



(文部科学省「学校基本調査」、「学校基本調査速報」(平成16年度) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成14年1月推計) より文部科学省作成)

12年度以降の将来構想における試算(従前の試算)

- 〔仮定〕・現役志願率は、7年度～8年度の実績で推移すると仮定
 大学：毎年0.8%増加
 短大：毎年0.6%減少(ただし、12年度以降、12.8%で固定)
- ・過年度志願者は、7年度～8年度の実績で推移すると仮定
 大学：前年度不合格者の77.7%
 短大：前年度不合格者の49.6%
- ・入学定員数は、7年度～8年度の実績から試算
 大学：前年度から恒常定員年6,600人増加(臨時定員17年度で全て解消)
 短大：前年度から恒常定員年2,200人減少(臨時定員17年度で全て解消)
- ・入学者数は、11年度、16年度、21年度に入学定員の1.1倍

(単位:千人・%)

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	26年度
18歳人口(A)	1,465	1,411	1,366	1,326	1,301	1,239	1,201	1,181
高校卒業者数(B)=(A) × 0.897	1,314	1,266	1,225	1,190	1,167	1,111	1,077	1,060
現役志願者(C)=(B) × (D)	763	745	732	720	715	690	678	709
(現役志願率(D))	58.1%	58.9%	59.7%	60.5%	61.3%	62.1%	62.9%	66.9%
過年度志願者(E)	126	131	129	114	92	68	30	0
全志願者数(F) = (C) + (E)	890	876	860	834	807	758	707	709
入学総定員(G)	667	657	662	666	671	675	679	701
入学者数(H)	721	711	713	716	720	720	707	709
定員超過率(J) = (H) / (G)	1.08	1.08	1.08	1.07	1.07	1.07	1.04	1.01
進学率(K) = (H) / (A)	49.2%	50.4%	52.2%	54.0%	55.3%	58.1%	58.9%	60.0%

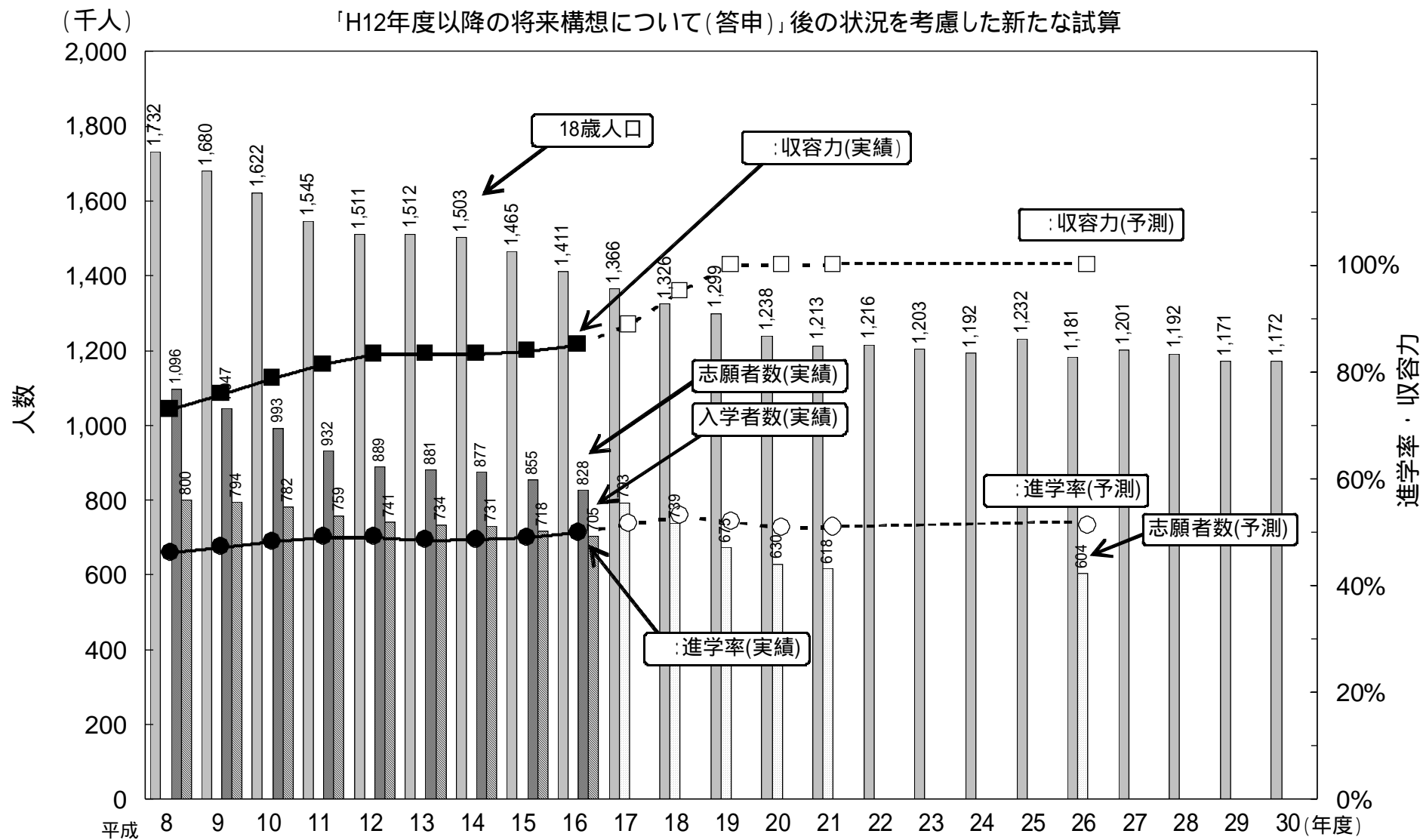
< 収容力 >

大学・短大 = (H) / (F)	81.08%	81.12%	82.88%	85.78%	89.16%	94.98%	100.00%	100.00%
-------------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------



大学・短大の収容力100%
 = 2009年(平成21年)

(文部科学省「学校基本調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成9年1月推計)より
 文部科学省作成)



(文部科学省「学校基本調査」、「学校基本調査速報」(平成16年度)、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成14年1月推計)より文部科学省作成)

16年度実績に基づく12年度以降の将来構想と同様の試算(新しい試算)

〔仮定〕・現役志願率は、14年度～16年度の実績で推移すると仮定 大学：毎年0.05%増加 短大：17年度以降は変化しない
・過年度志願者は、14年度～16年度の実績で推移すると仮定 大学：前年度不合格者の98.78%（ただし、最低数2万人） 短大：前年度不合格者の50.00%（ただし、最低数4千人）
・入学定員数は、15～16年度の実績から試算 大学：前年度から1,440人増加 短大：前年度から10,690人減少（ただし、18年度以降は現役志願者数に応じて減少）
・入学者数は、入学定員の1.1倍を上限

(単位:千人・%)

	15年度 実績	16年度 実績	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	26年度
18歳人口(A)	1,465	1,411	1,366	1,326	1,299	1,238	1,213	1,181
高校卒業者数(B)=(A) × 0.8758	1,282	1,235	1,196	1,161	1,138	1,085	1,062	1,034
現役志願者(C)=(B) × (D)	714	688	666	647	635	606	594	580
(現役志願率(D))	55.71%	55.66%	55.70%	55.75%	55.79%	55.84%	55.88%	56.11%
過年度志願者(E)	141	140	126	92	40	24	24	24
全志願者数(F) = (C) + (E)	855	828	793	739	675	630	618	604
入学総定員(G)	660	651	650	648	647	644	644	650
入学者数(H)	718	705	704	703	675	630	618	604
定員超過率(J) = (H) / (G)	1.09	1.08	1.08	1.08	1.04	0.98	0.96	0.93
進学率(K) = (H) / (A)	49.00%	49.94%	51.54%	53.00%	51.92%	50.84%	50.92%	51.17%

< 収容力 >

大学・短大 = (H) / (F)	84.00%	85.11%	88.81%	95.11%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
-------------------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------	---------

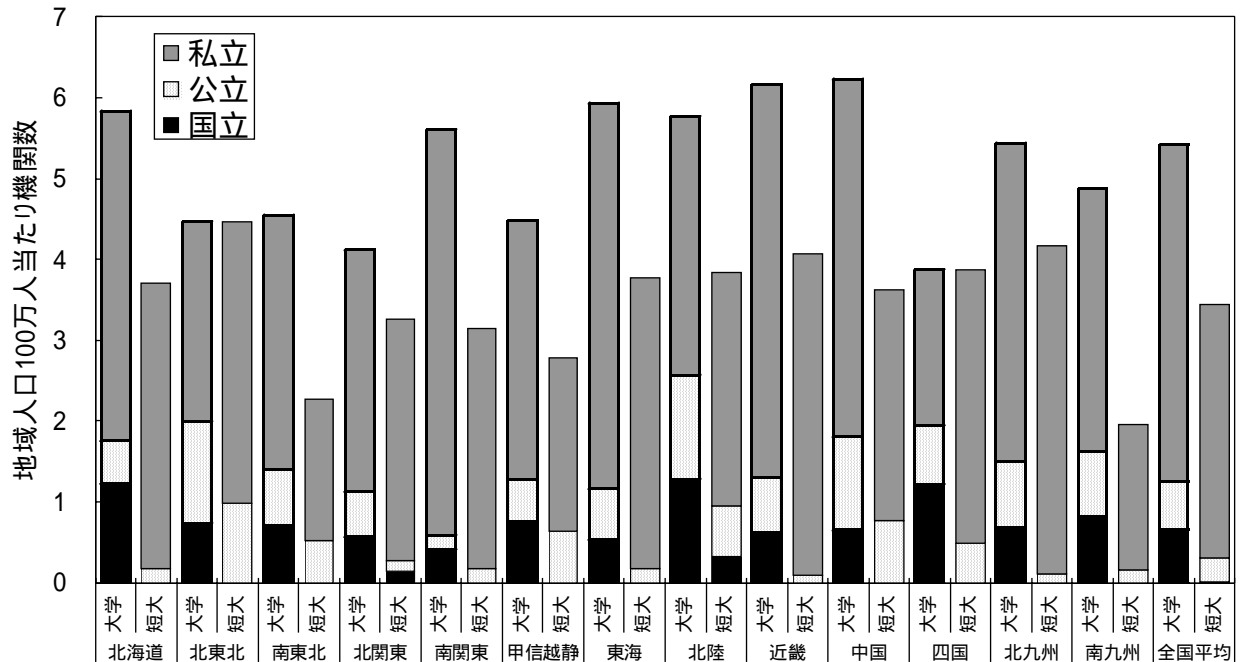
大学・短大の収容力100%
= 2007年(平成19年)

(文部科学省「学校基本調査」、「学校基本調査速報」(平成16年度) 国立社会保障・人口問題研究所
「日本の将来推計人口」(平成14年1月推計)より文部科学省作成)

(6) 大学・短期大学の地域配置

(ア) 人口当たり地域別機関数

(機関)

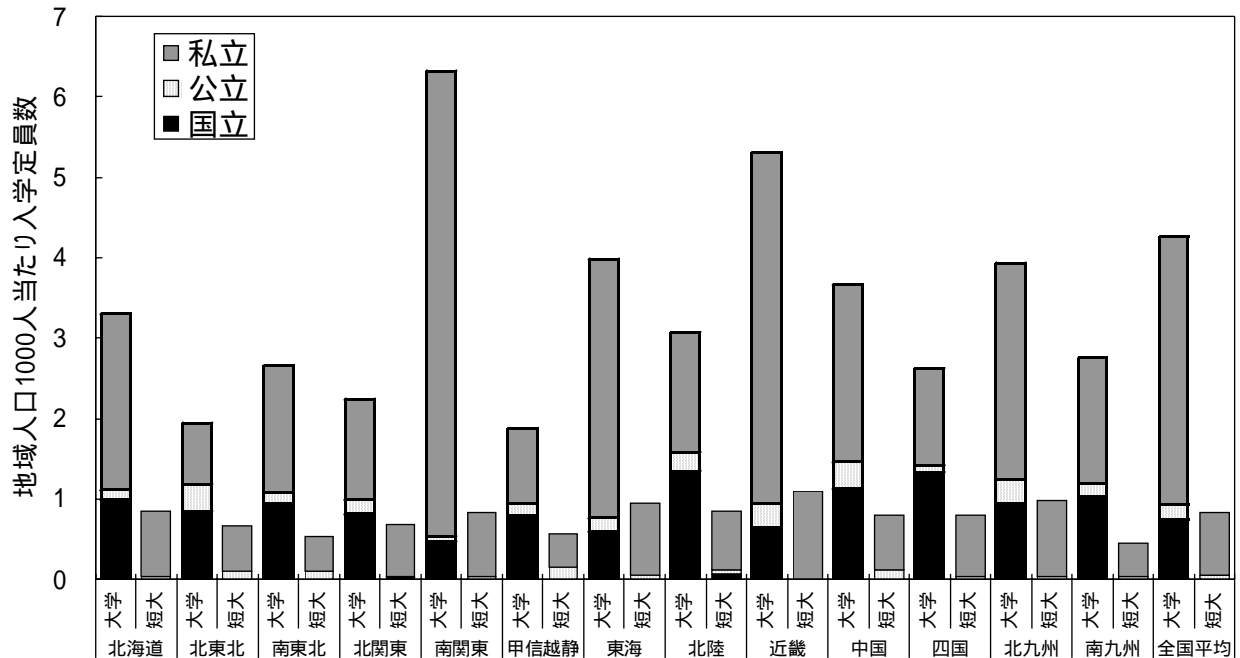


(注) 甲信越静は新潟・長野・山梨・静岡、東海は岐阜・愛知・三重、北陸は富山・石川・福井の各県を指す。
大学院大学、通信教育課程のみを置く大学・短期大学、学生募集停止中の大学・短期大学は含まれていない。

(文部科学省「全国大学一覧」(平成16年度)「全国短期大学一覧」(平成16年度)
総務省統計局「推計人口」(平成15年10月1日現在)より文部科学省作成)

(イ) 人口当たり地域別入学定員数

(人)

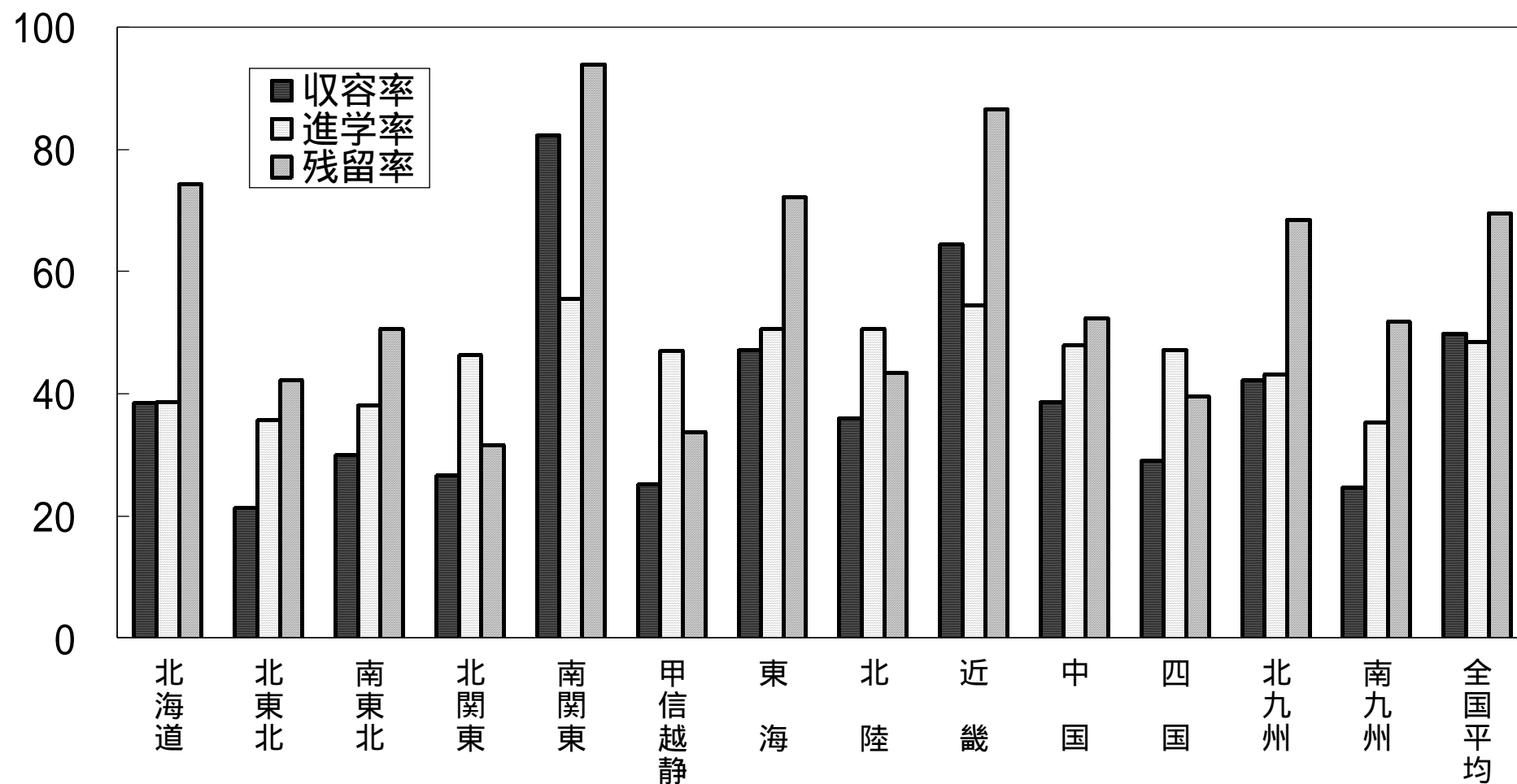


(注) 大学については学部の入学定員であり、大学院の入学定員は含まれていない。
通信教育課程の入学定員、募集停止中の入学定員は含まれていない。

(文部科学省「全国大学一覧」(平成16年度)「全国短期大学一覧」(平成16年度)
総務省統計局「推計人口」(平成15年10月1日現在)より文部科学省作成)

(ウ) 地域別収容率等

(%)



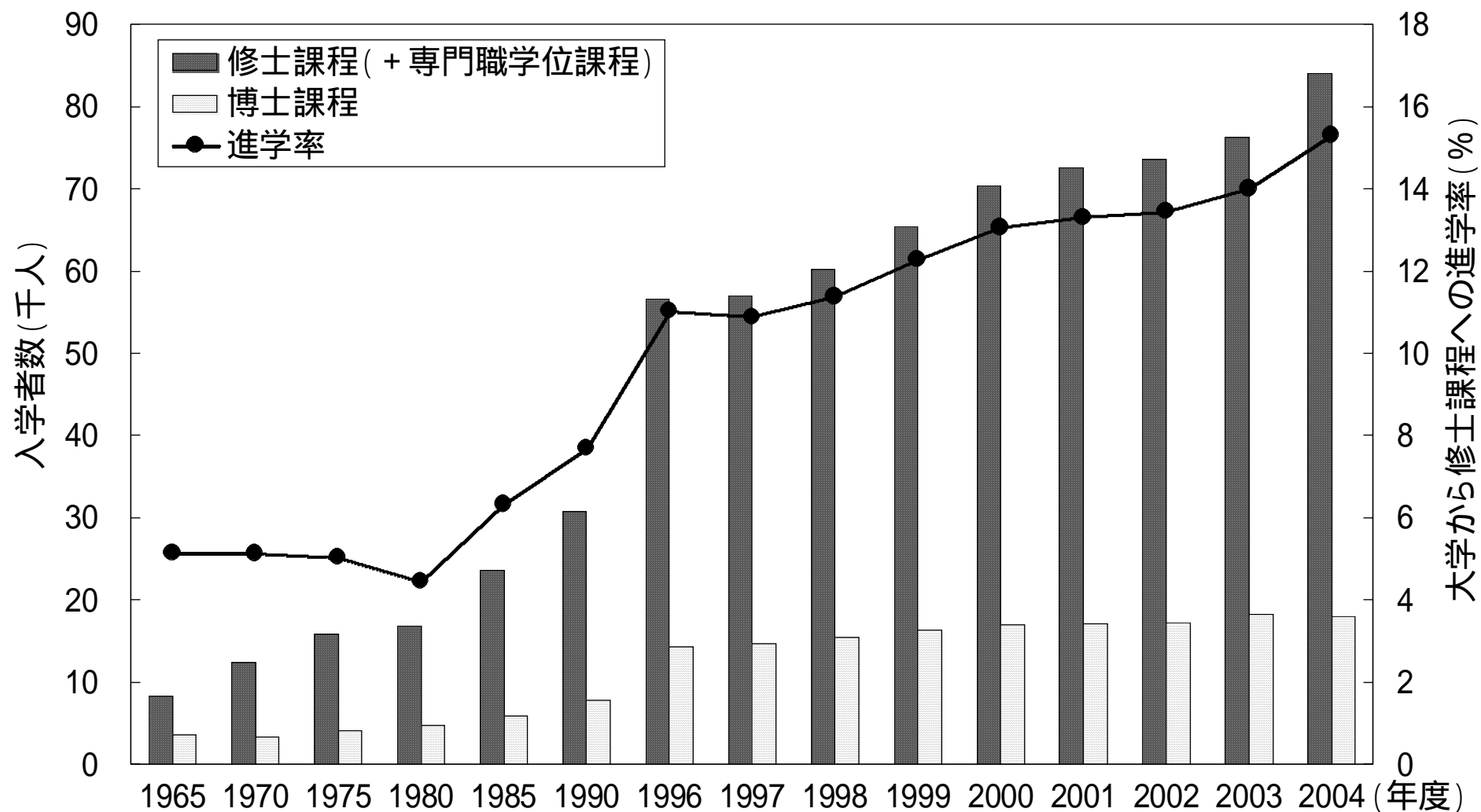
(注) 収容率：当該地域の大学・短期大学への入学者数 / 当該地域の18歳人口。

進学率：当該地域からの大学・短期大学への入学者数 / 当該地域の18歳人口。

残留率：当該地域からの当該地域の大学・短期大学への入学者数 / 当該地域からの大学・短期大学への入学者数。

(文部科学省「学校基本調査」(平成13年度)、「学校基本調査速報」(平成16年度)より文部科学省作成)

(7) 大学院進学状況の変化



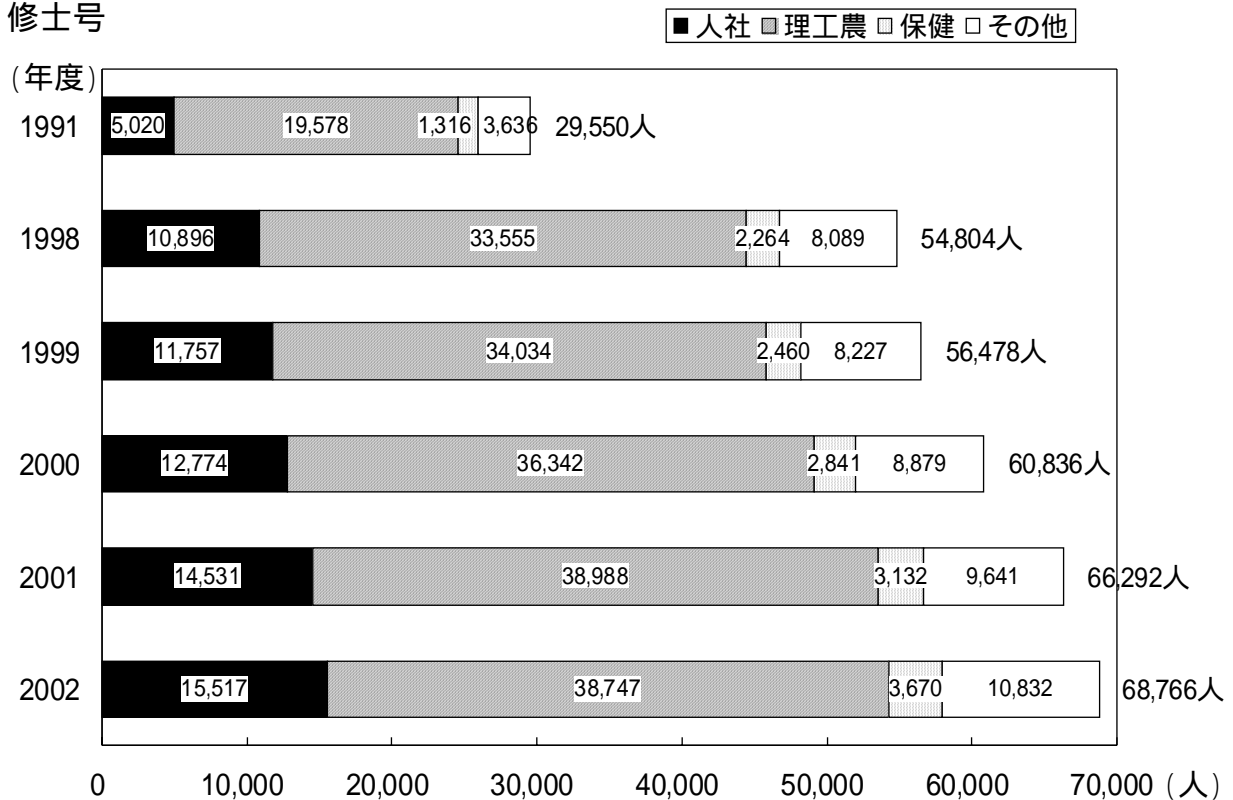
(注) 平成15年度以降の修士課程は専門職学位課程を含む。

進学率 = 修士課程入学者数 / 当該年度の大学卒業生数。

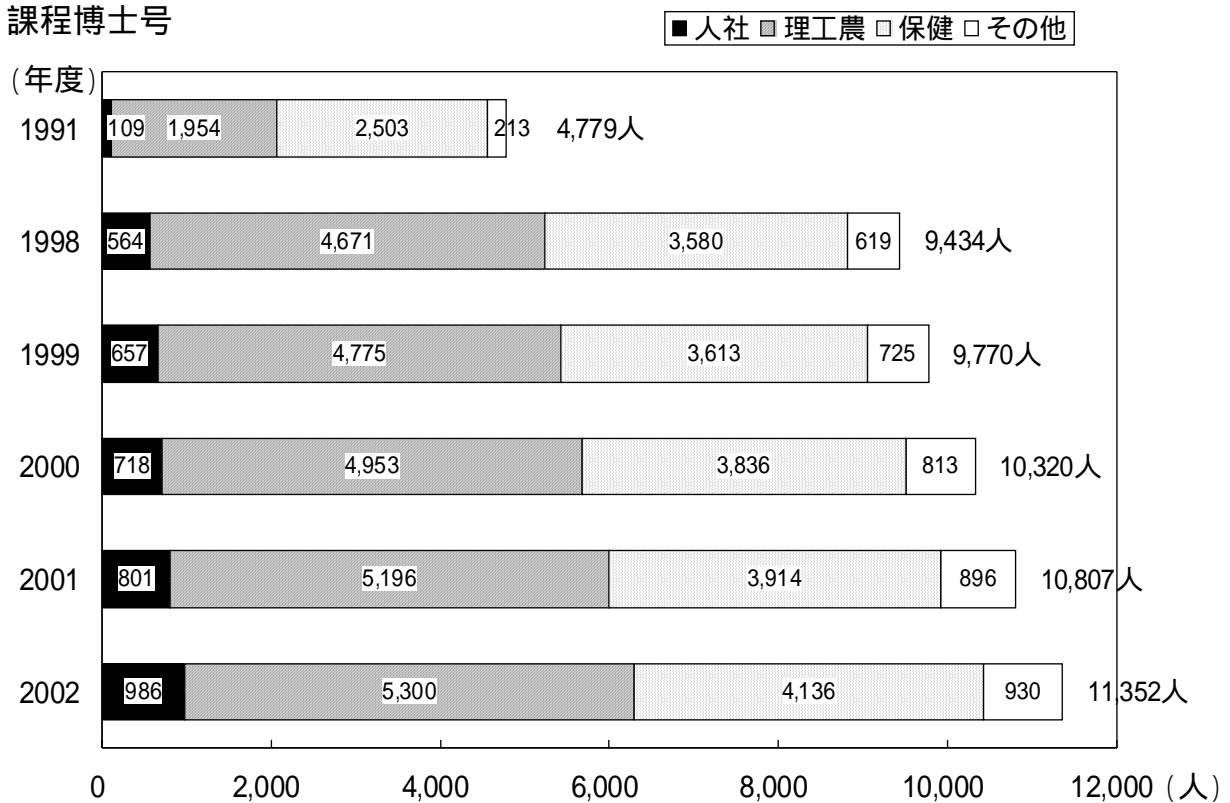
(文部科学省「学校基本調査」、「学校基本調査速報」(平成16年度)より文部科学省作成)

(8) 分野別の大学院学位授与数の推移

修士号



課程博士号



(注) その他には、学術を含む。
(文部科学省調べ)

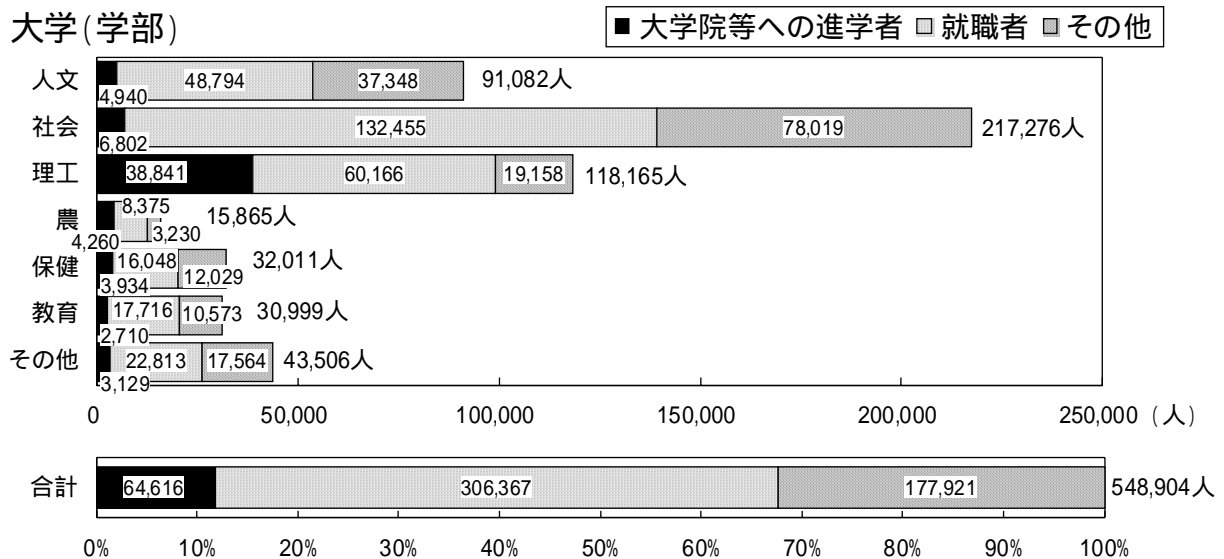
(9) 学位授与数による大学の機能分類

機関の種類			分類基準	該当する日本の大学			
				国立	公立	私立	合計
多角型大学	4分野 以上で 学位を 授与	博士号授与機関	年70件以上の博士号かつ分野別博士号授与数占有率の平均1.0%以上	11 機関 10.1 %	0 機関 0.0 %	2 機関 0.2 %	13 機関 1.1 %
		修士号授与機関	年100件以上の修士号かつ分野別修士号授与数占有率の平均0.5%以上	31 機関 28.4 %	3 機関 2.4 %	18 機関 1.8 %	52 機関 4.3 %
		学士号授与機関	上記2分類を除く多角型	1 機関 0.9 %	7 機関 5.6 %	31 機関 3.1 %	39 機関 3.2 %
集約型大学	4分野 未満で 学位を 授与	博士号授与機関	年40件以上の博士号かつ分野別博士号授与数占有率の最大値2.0%以上	4 機関 3.7 %	0 機関 0.0 %	0 機関 0.0 %	4 機関 0.3 %
		修士号授与機関	年50件以上の修士号かつ分野別修士号授与数占有率の最大値1.0%以上	23 機関 21.1 %	1 機関 0.8 %	14 機関 1.4 %	38 機関 3.1 %
		学士号 授与 機関	人文社会系 人文社会系の定員が総定員の8割以上	1 機関 0.9 %	13 機関 10.5 %	213 機関 21.6 %	227 機関 18.6 %
			理工農系 理工農系の定員が総定員の8割以上	4 機関 3.7 %	7 機関 5.6 %	44 機関 4.5 %	55 機関 4.5 %
			その他 上記4分類を除く集約型	5 機関 4.6 %	13 機関 10.5 %	122 機関 12.4 %	140 機関 11.5 %
専門大学		保健系大学	総定員のすべてが保健系の定員	12 機関 11.0 %	27 機関 21.8 %	56 機関 5.7 %	95 機関 7.8 %
		芸術系大学	芸術系の定員が総定員の8割以上	1 機関 0.9 %	4 機関 3.2 %	23 機関 2.3 %	28 機関 2.3 %
		商船大学 水産大学		3 機関 2.8 %	0 機関 0.0 %	0 機関 0.0 %	3 機関 0.2 %
準学士号 授与大学		短期大学	準学士号のみを授与	13 機関 11.9 %	49 機関 39.5 %	463 機関 47.0 %	525 機関 43.1 %
総 計				109 機関 100.0 %	124 機関 100.0 %	986 機関 100.0 %	1,219 機関 100.0 %

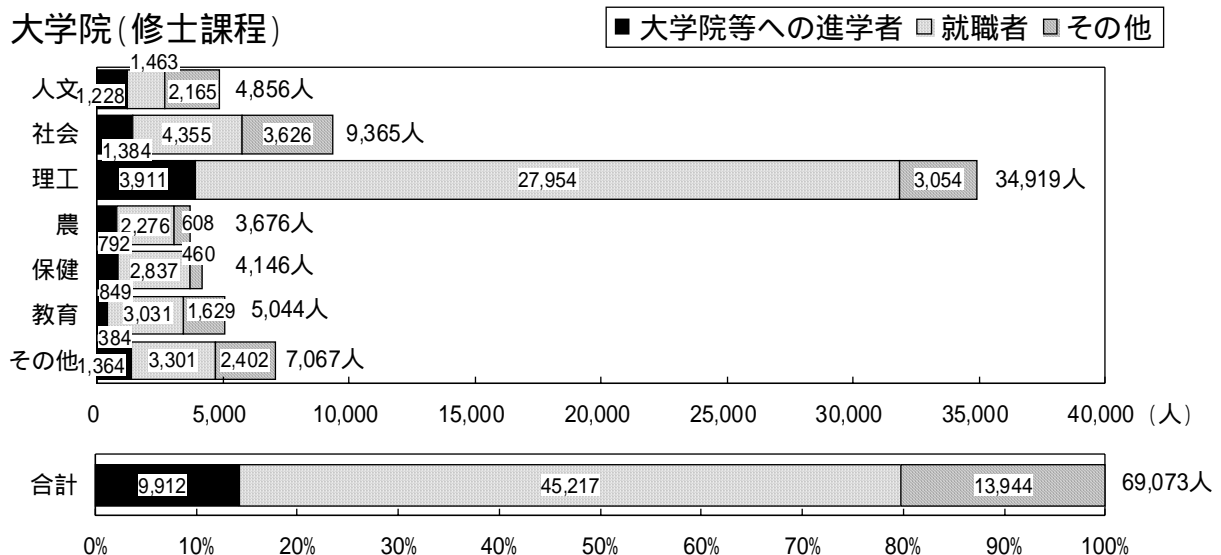
(出典) 国立大学財務・経営センター「大学財務経営研究」第 1 号

(10) 学校種別分野別卒業後の進路

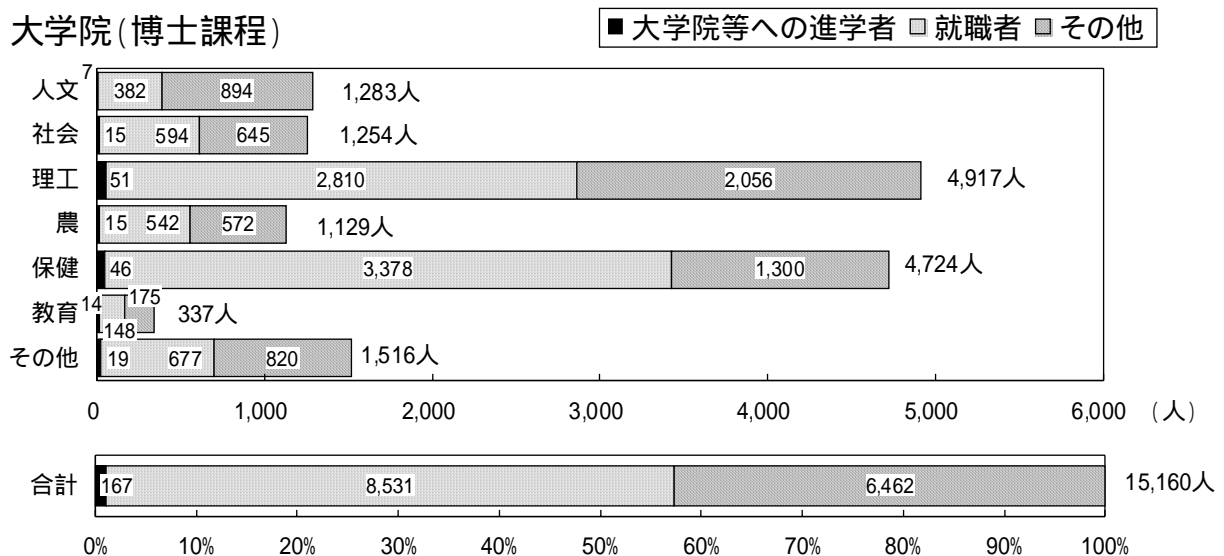
大学(学部)



大学院(修士課程)



大学院(博士課程)



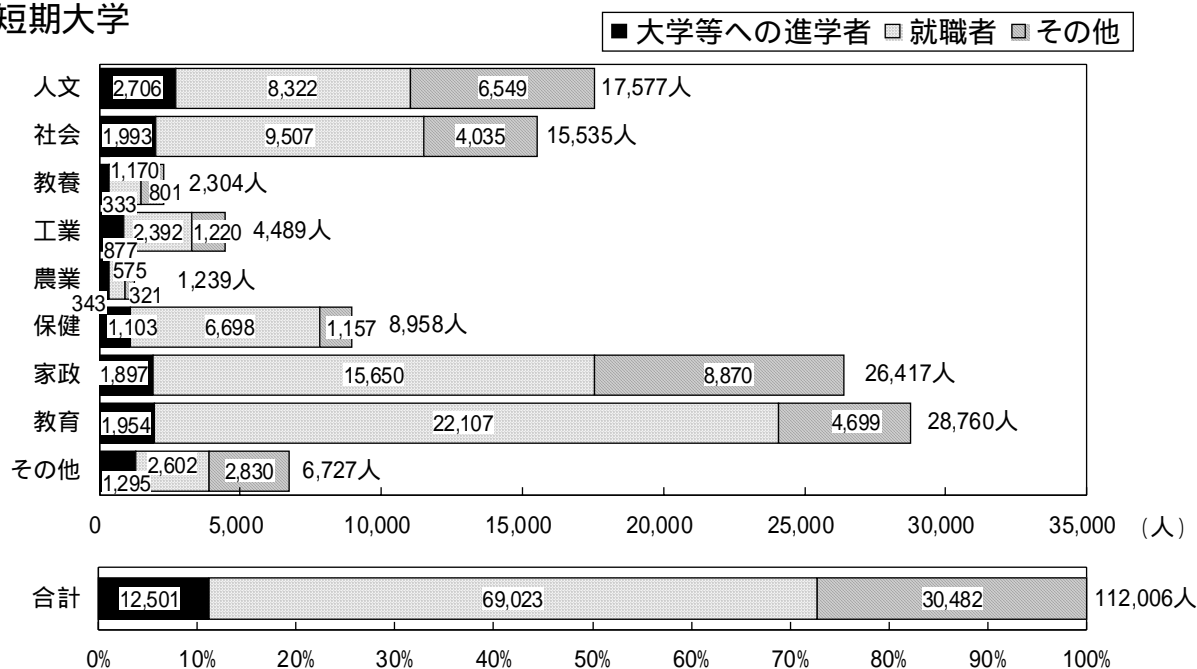
(注) 博士課程の卒業生には学位をとらずに満期退学した者を含む。

分野のその他は商船、家政、芸術等を含む。

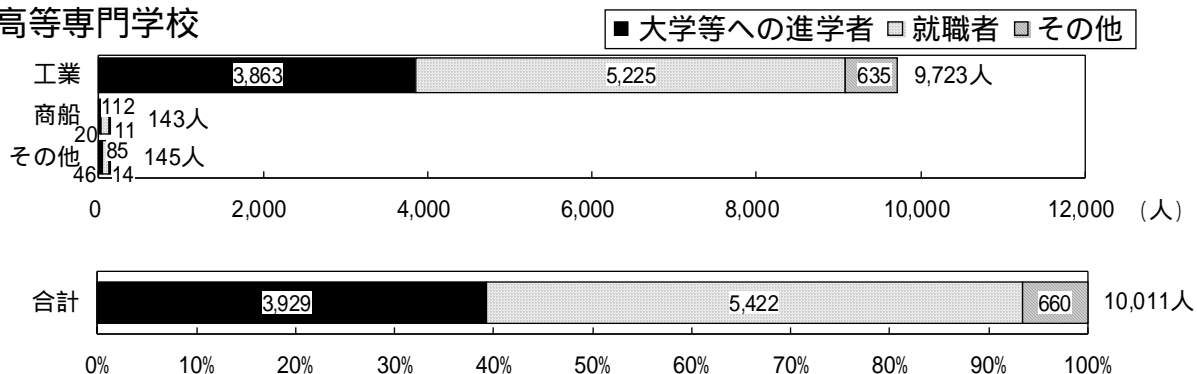
進路のその他は一時的な仕事に就いた者、専修学校等への入学者、死亡・不詳の者等を指す。

(出典) 文部科学省「学校基本調査速報」(平成16年度)

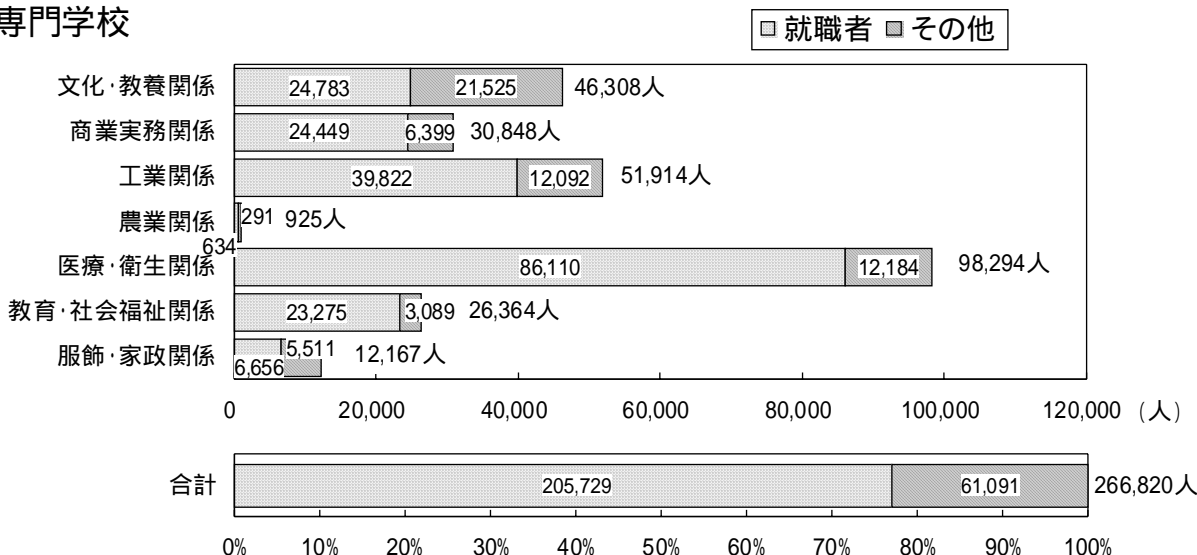
短期大学



高等専門学校



専門学校



(注) 短期大学の分野のその他は芸術等を含む。

高等専門学校の分野のその他は経営情報学科、情報デザイン学科、コミュニケーション情報学科及び国際流通学科である。

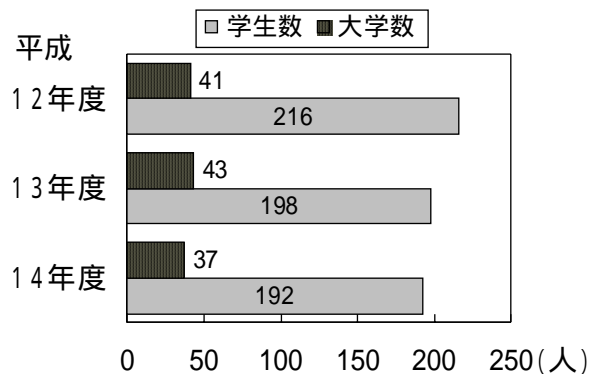
進路のその他は一時的な仕事に就いた者、専修学校等への入学者、死亡・不詳の者等を指す。

(出典) 短期大学、高等専門学校：文部科学省「学校基本調査速報」(平成16年度)
専門学校：文部科学省「学校基本調査」(平成15年度)

(11) 進学経路の多様化

(ア) 飛び入学・短期修了

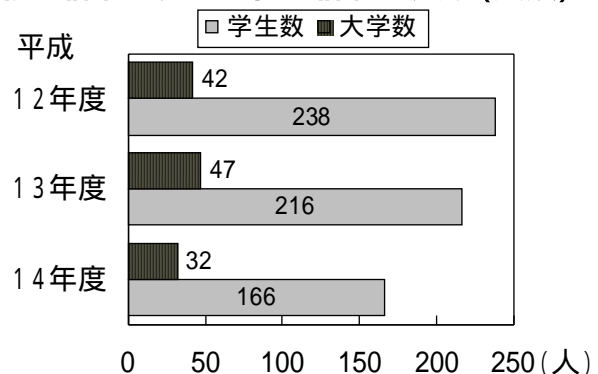
大学院への飛び入学(実績)



実施大学の例

九州大学36人、立命館大学25人、大阪大学22人

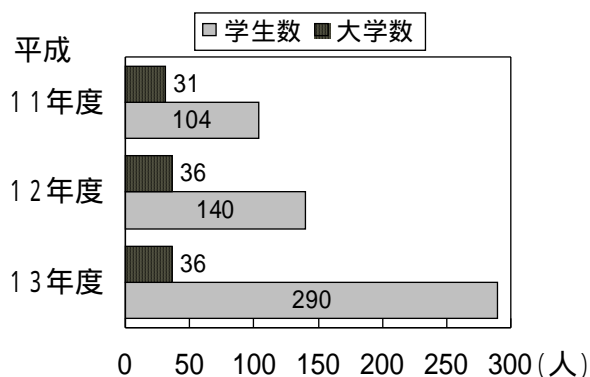
学部卒業後2年以上研究に従事し、修士課程を経ずに博士課程に入学(実績)



実施大学の例

東京工業大学21人、東北大学18人、山口大学14人、鳥取大学10人

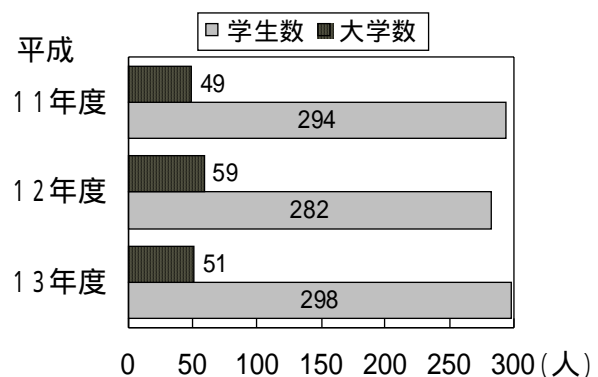
修士課程の短期修了(実績)



実施大学の例

政策研究大学院大学132人、法政大学38人、一橋大学12人、大阪大学12人

博士課程の短期修了(実績)

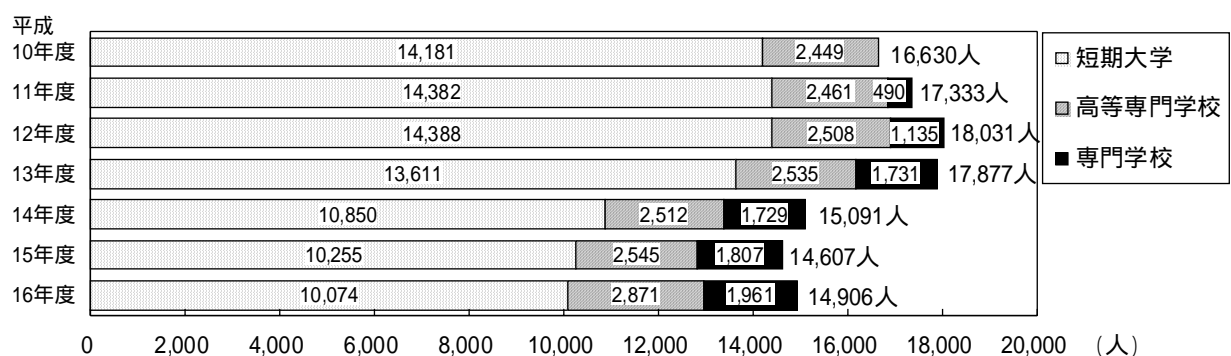


実施大学の例

東北大学42人、大阪大学36人、秋田大学24人、筑波大学15人、奈良先端科学技術大学院大学15人

(出典) 文部科学省「大学における教育内容等の改革状況について」(平成16年3月)

(イ) 大学への編入学状況の変化

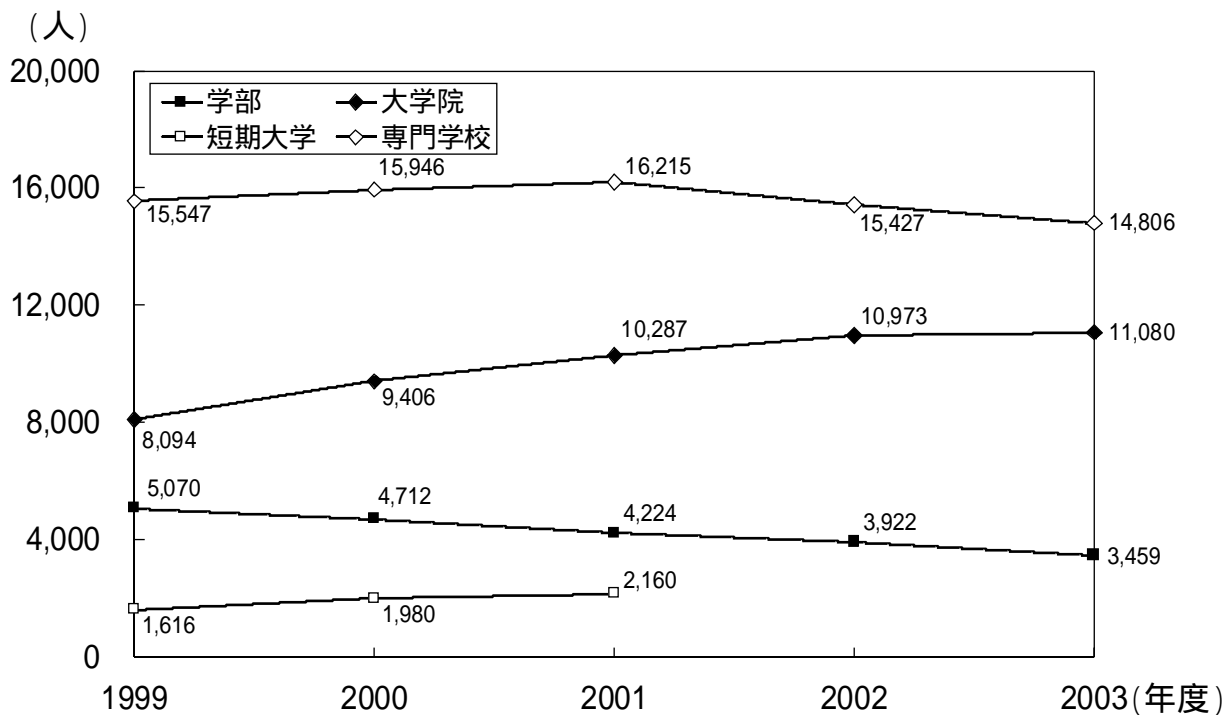


(注) 編入学：短期大学、高等専門学校、専門学校を卒業し、大学の途中年次に入学する制度。

(出典) 文部科学省「学校基本調査」、「学校基本調査速報」(平成16年度)

(12) 社会人学生

(ア) 社会人入学者数の推移

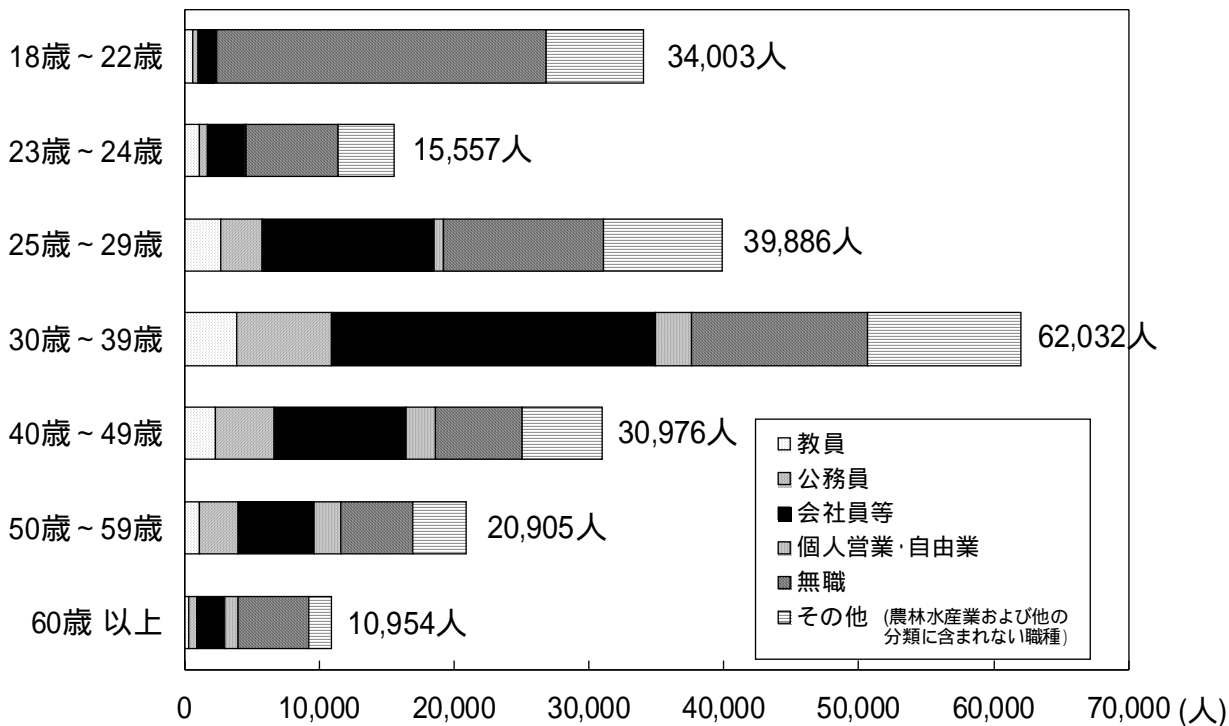


(注) 学部については、社会人特別選抜枠による入学者数である。

短期大学については、本科の社会人入学者数であり、2002年度以降集計なし。

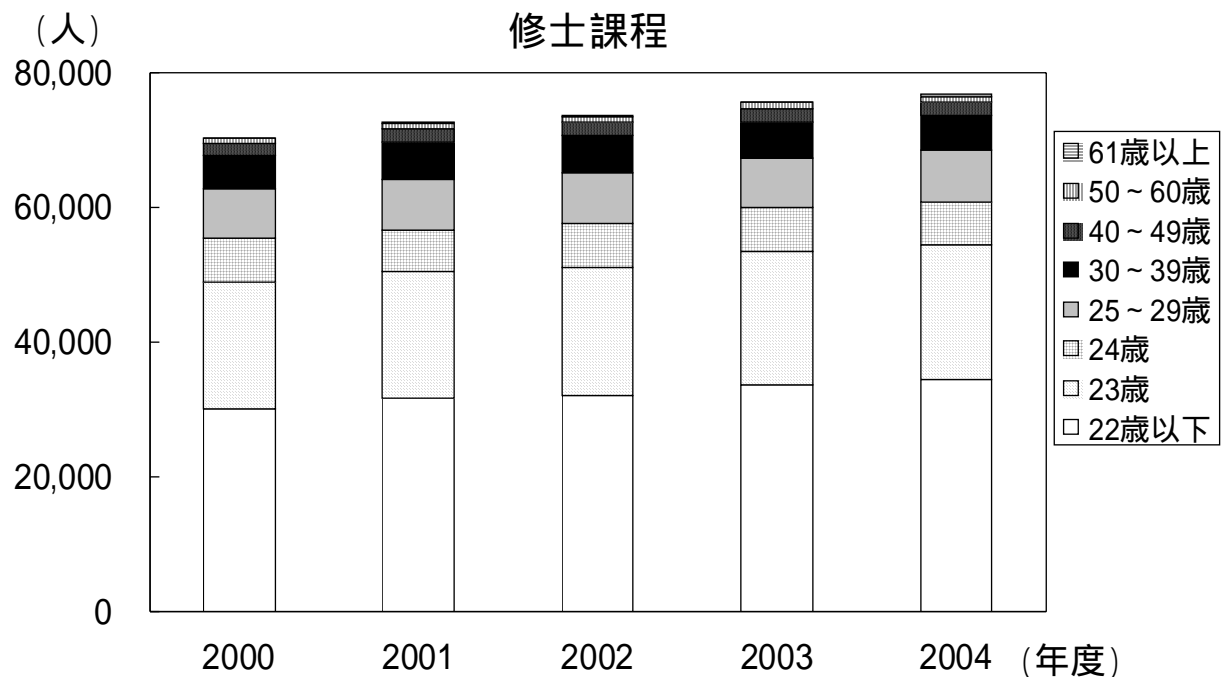
(文部科学省調べ)

(イ) 通信制大学(放送大学含む)・短期大学に在学する学生の年齢別職業別分布

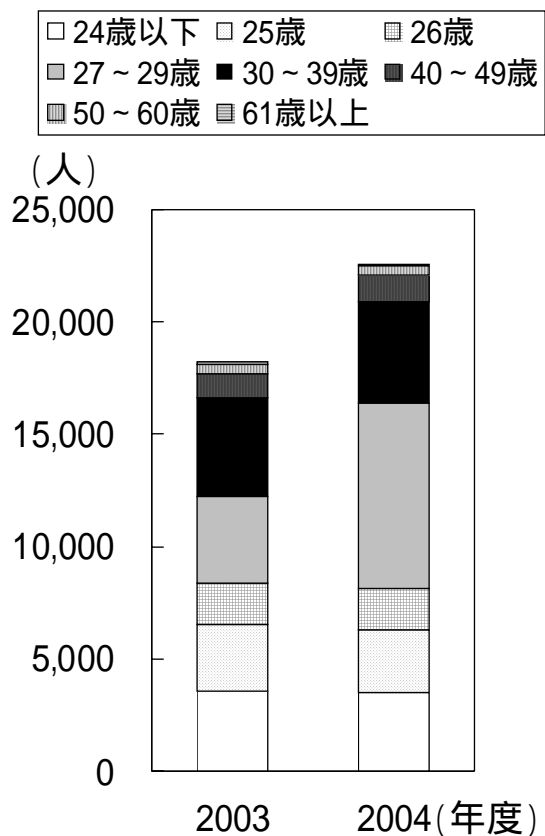


(出典) 文部科学省「学校基本調査」(平成15年度)

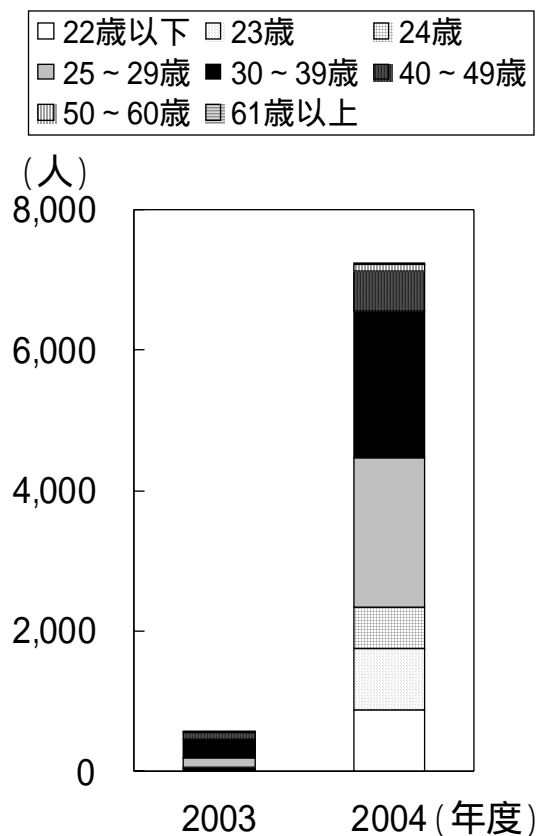
(ウ) 大学院の年齢別入学者数



博士課程

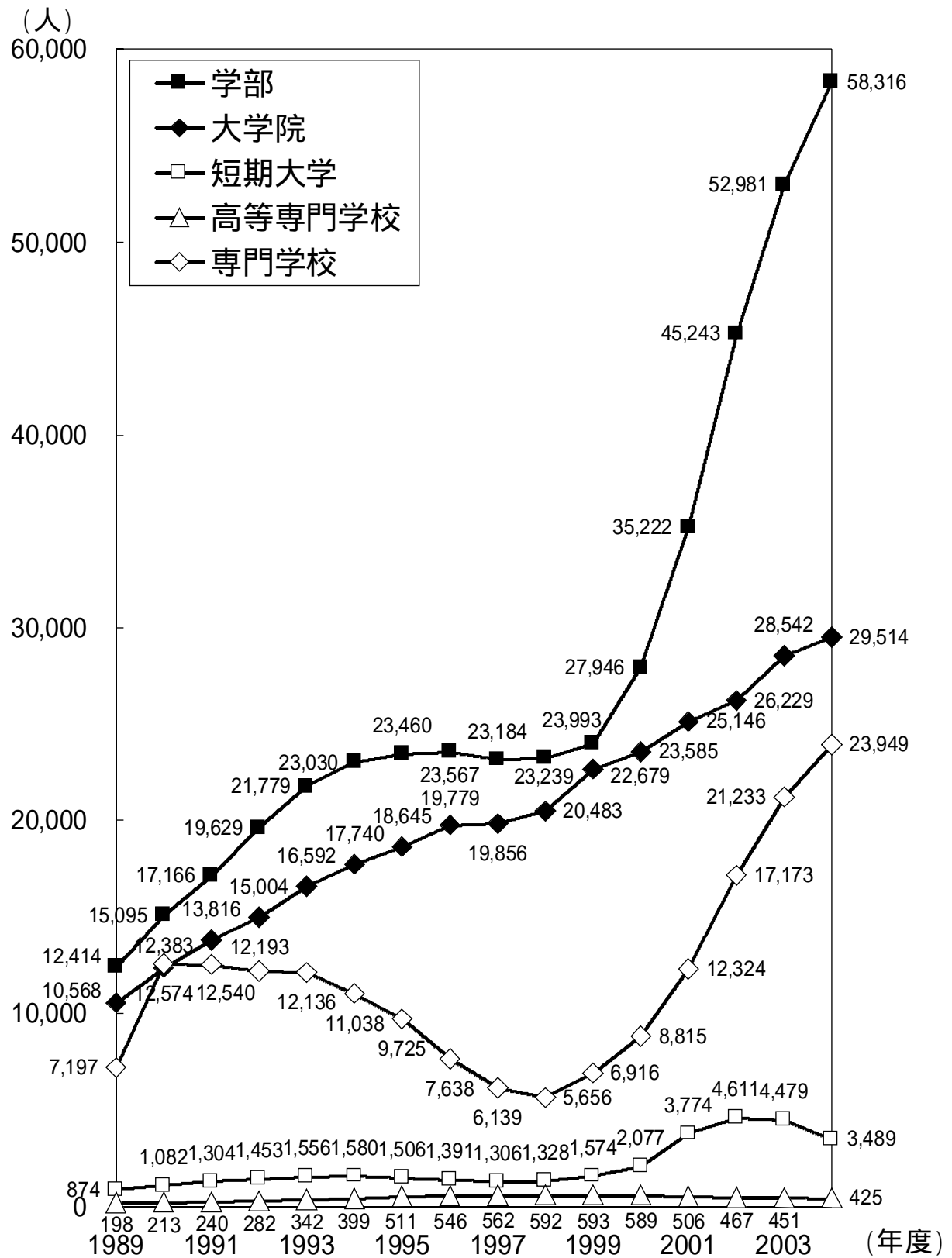


専門職学位課程



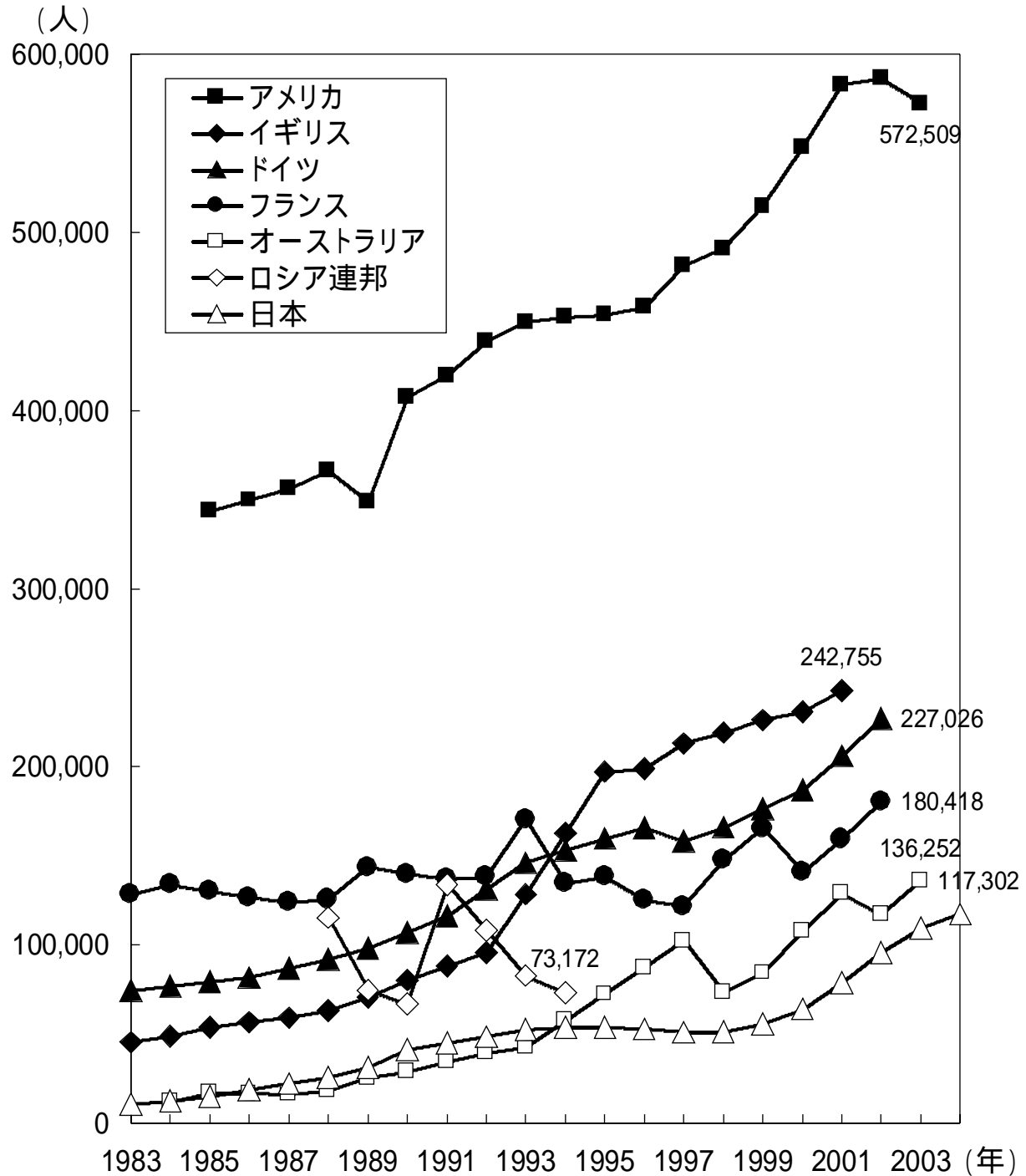
(13) 留学生

(ア) 在学段階別留学生数の推移



(注) 各年5月1日現在の値である。
(文部科学省調べ)

(イ) 主要国における留学生受入れ人数の推移



(出典等) アメリカ: ユネスコ「ユネスコ文化統計年鑑」(1985～1993年)

IIE「OPEN DOORS」(1994～2003年)

イギリス: ユネスコ「ユネスコ文化統計年鑑」(1983～1996年)

HESA「STUDENTS in Higher Education Institutions」(1997～2001年)

ドイツ: ユネスコ「ユネスコ文化統計年鑑」(1983～1996年)

連邦調査庁「Bildung im Zahlenspiegel」(1997～2002年)

フランス: ユネスコ「ユネスコ文化統計年鑑」(1983～1997年)

フランス国民教育省「REPERES ET REFERENCES STATISTIQUES」(1998～2002年)

オーストラリア: ユネスコ「ユネスコ文化統計年鑑」(1984～1997年)

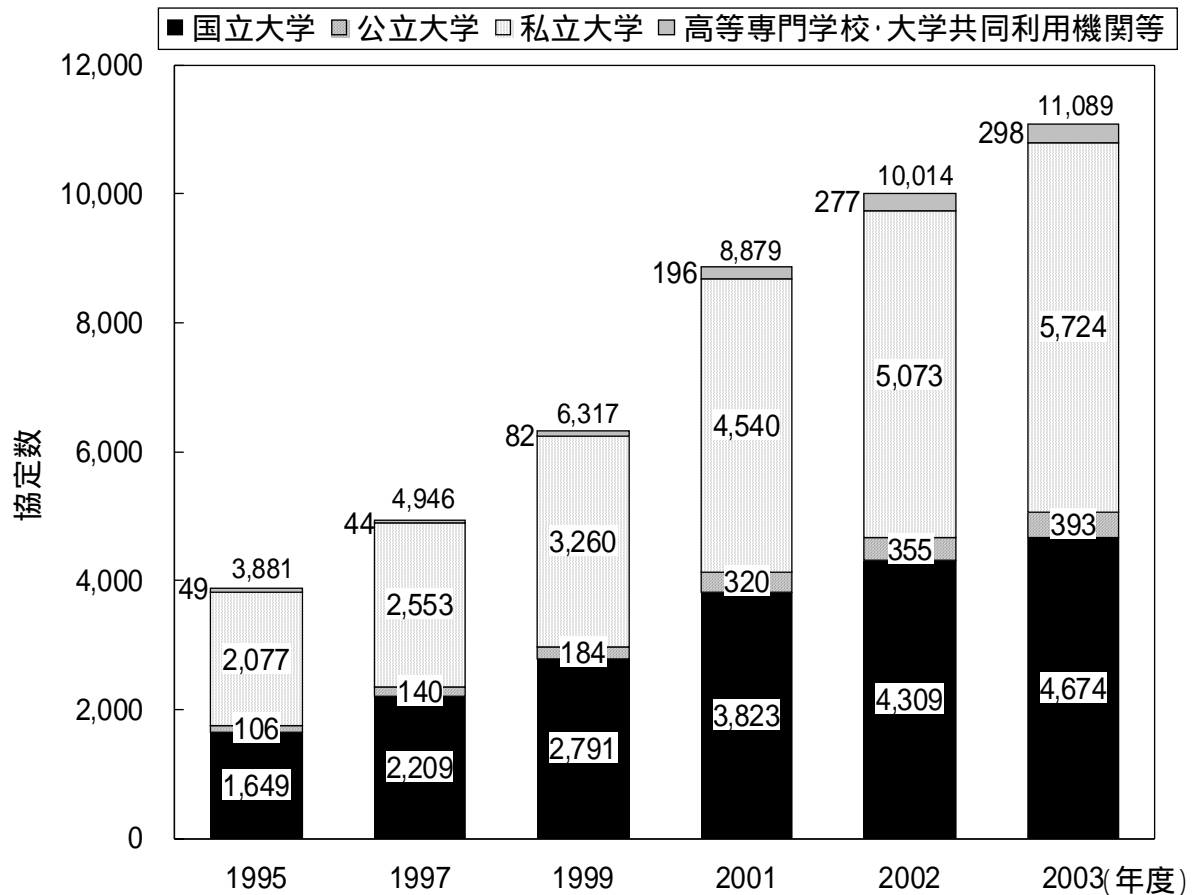
AEI「Overseas Student Statistics」(1998～2003年)

ロシア連邦: ユネスコ「ユネスコ文化統計年鑑」(1988～1994年)

(1988～1990年の間のデータはソビエト連邦として発表されたもの)

日本: 文部科学省調べ

(14) 大学等間交流協定締結状況の推移



協定の相手国・地域数の推移

(単位: 国・地域)

	アジア	中近東	アフリカ	オセアニア	北米	中南米	ヨーロッパ	全体
1993年度	16	6	12	4	2	11	28	79
1998年度	21	7	17	4	2	15	36	102
2003年度	22	12	19	12	2	17	39	123

(注) 大学等間交流協定 : 両国の大学等が教育・学術の相互交流の必要性に基づいて各大学等が独自に締結を行う協定書等 (覚書等を含む)。学部、大学院、研究所等間の協定等も対象とする。
 交流の内容としては、日本人学生の派遣、外国人学生の受入れ、研究者の相互交流、共同研究の実施、国際シンポジウムの開催、情報交換等がある。

(出典) 文部科学省「大学等間交流協定締結状況調査の結果について」(平成15年10月1日現在)

(15) eラーニングに関する実態調査

調査対象数 295大学 518部局

メディア教育開発センター「高等教育機関におけるマルチメディア利用実態調査」においてインターネット授業を「行っている」「行うことを計画している」と回答した機関を調査対象とした。

有効回答数

	国立	公立	私立	合計
人社教	47	2	115	164
理工農	30	2	29	61
医歯薬保	12	2	22	36
その他	1	1	23	25
	90	7	189	286

今年度のeラーニング授業実施科目数

設置者別

科目数	国立	公立	私立	合計	
0	62	7	124	193	67.4%
1～2	14	0	18	32	9.8%
3～6	4	0	18	22	9.8%
7～10	1	0	10	11	5.4%
11以上	9	0	14	23	7.6%
合計	90	7	184	281	
0を除く計	28(31.8%)	0(0.0%)	60(68.2%)	88	

部局数別

科目数	人社教	理工農	医歯薬保	その他	合計	
0	107	37	32	17	193	67.4%
1～2	17	12	3	0	32	9.8%
3～6	14	6	1	1	22	9.8%
7～10	7	3	0	1	11	5.4%
11以上	19	3	0	1	23	7.6%
合計	164	61	36	20	281	
0を除く計	57(64.8%)	24(27.3%)	4(4.5%)	3(3.4%)	88	

情報通信技術の利用による遠隔地での受講(対面授業出席と同等の扱い)可能な授業科目数

科目数	授業のほぼ全体が可能		授業の一部のみが可能		遠隔地では受講できない	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
0	46	52.3%	61	69.3%	45	51.1%
1～2	23	26.2%	13	14.8%	15	17.0%
3～6	14	15.9%	2	2.3%	18	20.5%
7～10	1	1.1%	1	1.1%	5	5.7%
11以上	4	4.5%	11	12.5%	5	5.7%
合計	88		88		88	
0を除く計	42	47.7%	27	30.7%	43	48.9%

(出典) 国際的な大学の質保証に関する調査研究協力者会議

「国境を越えて教育を提供する大学の質保証について(審議のまとめ)」(平成16年3月29日)